「症候性多発性骨髄腫に対する自家末梢血幹細胞移植後の地固め・維持療法の効果：関西骨髄腫フォーラムのデータベースを用いた後方視的解析」のお知らせ

我が国における移植適応症候性多発性骨髄腫の患者さんの標準治療は自家末梢血幹細胞移植併用大量化学療法とされています。移植後の地固め療法・維持療法の有用性については、まだはっきりしていません。そこで、移植適応症候性多発性骨髄腫に対する自家末梢血幹細胞移植後の地固め・維持療法の有用性を検討することを目的とする研究が計画されました。

＜研究対象者＞

関西骨髄腫フォーラムデータベースに登録されている患者さんで、当院で症候性多発性骨髄腫に対して自家末梢血幹細胞移植併用大量化学療法を 2016 年 12 月 31 日までの間に施行した患者さん

＜研究期間＞2024 年 9 月 30 日までを予定しています。

＜研究内容＞施行された治療内容、治療結果、服薬状況、副作用、転帰などの情報を診療録より収集します。

＜研究代表者＞関西医科大学総合医療センター　血液腫瘍内科　中谷　綾

研究で集めるデータには患者さんのお名前や住所など個人を特定する情報は含まれません。研究結果は，研究代表者に情報を提供します。また、学会等で発表することがありますが、その場合でも個人情報が漏れることはありません。プライバシーは守られます。

本研究の趣旨をご理解いただき本研究に参加をお願いします。もしそれを望まれない場合やご質問がある場合は担当医師にお申し出ください。ご協力いただけない場合でも、今後の診療に不利益はきたしません。ご理解とご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

2023 年 4 月 1 日

血液内科　部長　菱澤　方勝